

「令和元年度オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 実践事例集」で、兵庫県からは昨年度オリパラ教育推進校としてこの事業に取り組んでいた豊岡市立城崎中学校が紹介されました！！

城崎中学校ではどんな取組をしていたのでしょうか？？みてみましょう♪

※実践事例集は筑波大学オリンピック教育プラットフォーム運営サイト URL [<http://core.taiiku.tsukuba.ac.jp/>] より閲覧可能です。

## ★実践テーマ★

ふるさと教育と関連付けたオリンピック・パラリンピックの学び

- \* スポーツと及びオリンピック、パラリンピックに意義や歴史に関する学び
- \* スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築

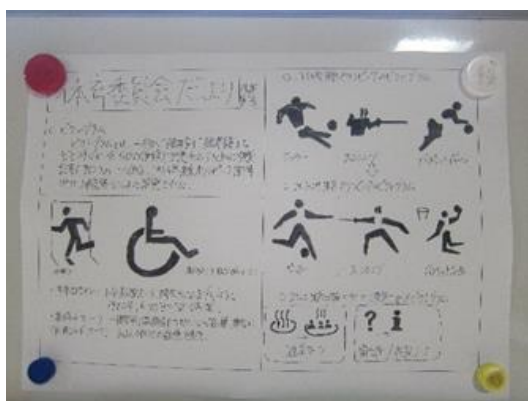
## ★目標★

- オリンピック・パラリンピックの意義や歴史について学ぶことで、スポーツに対する興味関心を高める。
- 講師の体験談から、様々な困難を乗り越え夢を実現した姿を学び、生徒自らの生活に役立たせる。また、支え合いや感謝する気持ちの大切さを学び、共生社会を実現しようとする意欲を高める。

## ★取組内容★

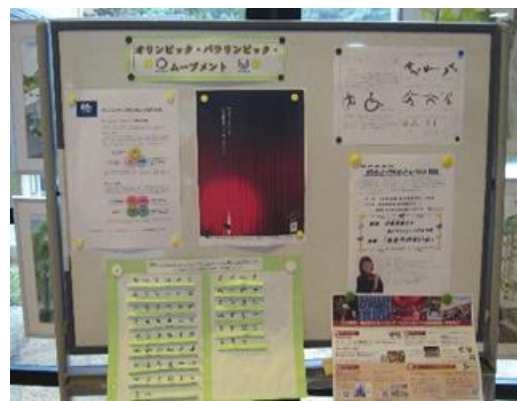
### 【オリ・パラ掲示板の設置】

玄関と生徒昇降口に掲示板を設置し、生徒が作成した掲示物を継続的に張り出した。



### 【生徒会による「体育委員会だより」の作成、配布、校内掲示】

「体育委員会だより」を2回作成し、配布と校内掲示をした。



### 【福祉新聞作り】

パラリンピックについてまとめた生徒の新聞を文化祭で展示した。



みんなとっても  
上手だなあ・・・

## 【オリ・パラ講演会】

### ○講演会1:「オリンピックの聖火とレガシー」 上治丈太郎 氏



■ 上治先生の話聞いてオリンピックのことがしっかり分かりました。特に驚いたことは、ギリシャから火を持ってくるということです。そのようなことをずっとしているのは大変だし、オリンピックの歴史は奥深いなと思いました。このことを家族にも教えてあげたいです。

■ 普段あまり知らないオリンピックの話が聞けて面白かったです。特に聖火リレーのトーチの色や形がきれいだなと思いました。そこで走れたら一生の思い出になると思います。オリンピックはもともと休戦のために生まれたものだということや、金メダルの数も一人で23個持っている人がいることに驚きました。今回のオリンピックは前より楽しみになりました。

### ～生徒の感想～

### ○講演会2:「あきらめない心」 伊藤真波 氏



■ まだまだこれからの20歳で腕をなくしてしまう、私には分からない感覚です。きっと想像以上にしんどかったと思います。本当にかっこいいなと思いました。今回の授業を見て、聞いて、何か自分の中で大きく変わりました。自分が今持っている悩みは本当にちっぽけなことなんだと前向きに捉えることができ、少し世界が明るくなりました。

■ 今回の話を聞いて、何事も一人でしようとするのではなく、いろんな人たちと協力しあうことも大事なんだということが分かりました。最後には義手をつけてバイオリンを演奏されていたので、感動して少し泣きそうになりました。

■ お話を聞いて、今自分が楽しく生活できているのは、周りの人のおかげだと思います。伊藤さんのおかげで、今後の生き方を改めて考えさせられました。

### ★取組で工夫した点★

- 新聞作りや生徒会活動等、生徒が主体的に取り組める活動を取り入れ、オリパラへの興味関心を高めたこと。
- 講演を聞くだけにならないよう、講師への質問を事前に考えたり、講演後に感想を書いて生徒間で交流を行ったりしたこと。
- 豊岡市がドイツ、スイスチームのボートチーム競技キャンプ地であること、聖火リレーのルート地であることを豊岡市の素晴らしさとして生徒たちが誇りに感じられるよう、伝える内容を工夫し焦点化したこと。

実践事例集では、全国各地のオリパラ教育の取組内容が掲載されています。

先日お知らせした「よい、ドン！スクール」認証を検討している学校関係者の皆様！

「来年はどんな取組をしようかなあ・・・」「このテーマのいい取組は何かないかなあ・・・」

そんなときは、是非これまでに完成されている「**オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 実践事例集**」をご活用くださいませ♪

※平成29年度～令和元年度の実践事例集は筑波大学オリンピック教育プラットフォーム運営サイトよりご覧いただけます。